



**ヴァサント(ヴァス)・ナラシムハン**  
**Vasant (Vas) Narasimhan, M.D.**

ノバルティス最高経営責任者(CEO)M.D.

\*2018年就任

2018年ノバルティスのCEOに就任以来、ナラシムハンは研究開発分野でのテクノロジーにおけるリーダーシップや革新的な医薬品へのアクセス提供を通して、社会の深刻な疾患負担を軽減できる高価値の医薬品に特化した製薬企業へとノバルティスを変革させるべく、戦略及び風土改革を指揮している。

ナラシムハン は、過去5年間にわたり、循環器疾患、がん、希少疾患で衰弱性のある遺伝性疾患の患者さんに新薬を届けるために、主要な疾患領域や、核酸医薬品、放射性リガンド療法、遺伝子・細胞療法などのテクノロジープラットフォームへのフォーカスを強化してきた。同時に、ノバルティスがイノベーション、信頼、業績を導くカルチャーを醸成する為の変革を主導。またデータサイエンスとテクノロジーを活用して、新しい方法で医薬品の発見と開発をより効率的に行えるようにデジタルの革新を推進してきた。

「人間の創意工夫が寿命の延伸や健康の向上がもたらされることに常に驚嘆させられます。ノバルティスでは、社会で最も困難で長年にわたる医療課題に向き合うために、革新的な科学技術を活用することで医薬の未来を描いています。私たちは画期的な治療法を発見、開発し、できるだけ多くの人々に提供していくための新しい方法を見つけしていきます。」

人々の健康向上と健康な世界のために貢献したいという理念のもと、ナラシムハン自身は自身の学業とキャリアを選択してきた。医学部時代また卒業後は、インド、アフリカ、南アメリカにおけるHIV/AIDS、マラリア、結核等の社会的健康問題に取り組んだ。これは低所得・中所得の国々への革新的な医薬品のアクセスを2025年までに少なくとも200%に拡大するノバルティスの取り組みを通して現在も続いている。

2005年ノバルティス入社以来、ナラシムハンにはノバルティスワクチンのグローバル開発責任者、グローバル医薬品開発部門責任者兼チーフメディカルオフィサー等、様々な役職を務めてきた。人々の健康向上に貢献するという一貫したナラシムハンの功績が認められ、アメリカのナショナル・アカデミー・オブ・メディスン(全米医学アカデミー)のメンバーに選出されている。2023年2月からナラシムハンには米国研究製薬工業協会(PhRMA)の会長を務めている。

ペンシルバニア州ピッツバーグ出身。家族(配偶者・2人の息子)とバーゼル、スイスに居住。ベジタリアン。環境と野生動物の保全に関心を持つ。歴史、リーダーシップスキル、哲学等について読書をたしなむ。